

■副専攻(AI活用エキスパートコース)で育成する人材

データサイエンス及び人工知能の基礎的知識とスキル、論理的思考・デザイン思考・データ思考などの情報技法、プログラミングリテラシーなどの基盤的な技法を身につけた上で、データサイエンス及び機械学習を応用した様々なツールを活用して実社会の問題に取り組むことができる課題解決のエキスパートを育成する。

■対象学生（データサイエンス学部を除く。）

「仮申込」時点（下記「■申し込みおよび継続について」参照）で2年生以下の学生。

■学修する内容に基づく2つのコース

副専攻(AI活用エキスパートコース)では、学修する内容によって「プロジェクトコース」と「インテンシブコース」を選択することができる。

・「プロジェクトコース」

社会での活躍イメージは、AIを活用したサービスを自ら考案し実現に導いていけるプロダクトマネージャー。そのために、利用者視点で価値あるサービスを構想し他者に提案し説得できる力を身につける。

・「インテンシブコース」

社会での活躍イメージは、直面するさまざまな課題をAIを活用して解決していける業務スペシャリスト。そのために、幅広いAI技術とツールの知識を持ち自分の仕事に応用できる力を身につける。

■コース認定の要件について

・「プロジェクトコース」：下記①～⑤の合計11科目（12単位）以上を修得した場合、学部卒業時にコース修了認定を行う。

①コース必修5科目（5単位）：データサイエンス基礎、人工知能基礎、情報技法基礎、プログラミング基礎、人工知能技術と社会
②「～発展」科目から2科目（2単位）：情報技法発展A、情報技法発展B、情報技法発展C、プログラミング発展A、プログラミング発展B
③「～活用」科目から2科目（2単位）：データサイエンス活用1-2、機械学習活用1-2
④「～デザイン」科目から1科目（1単位）：メディアデザイン、サービスデザイン
⑤「人工知能実践プロジェクト」1科目(2単位)

・「インテンシブコース」：下記①～④の合計12科目（12単位）以上を修得した場合、学部卒業時にコース修了認定を行う。

①コース必修5科目（5単位）：データサイエンス基礎、人工知能基礎、情報技法基礎、プログラミング基礎、人工知能技術と社会
②「～発展」科目から4科目（4単位）：情報技法発展A、情報技法発展B、情報技法発展C、プログラミング発展A、プログラミング発展B
③「～活用」科目から2科目（2単位）：データサイエンス活用1-2、機械学習活用1-2
④「～デザイン」科目から1科目（1単位）：メディアデザイン、サービスデザイン

■卒業所要単位上の位置づけについて

入門科目群の2科目（「データサイエンス基礎」「人工知能基礎」）を除き、「自由選択科目（所要単位を超える武蔵野INITIAL科目）」として算定される。

■申し込みおよび継続について

時期	行うこと	備考
1年次（2年次） 4月	■仮申込 「情報技法基礎」「プログラミング基礎」の2科目を履修登録。 ・人数制限等で履修対象外となった場合は、「仮申込」にはならない。 ・この2科目はそれぞれ内容が同じクラスが複数開講されるため、希望するクラスを履修登録する（※）。 ・仮申込対象者にはMUSCATで案内するので確認する。	・コース履修生の募集に関する説明は入学時の初頭ガイダンスおよびMUSCATにて行う。 ・前年度までに「情報技法基礎」または「プログラミング基礎」のどちらか一方のみを単位取得した者が、もう一方を当該年度に履修登録し、履修が認められた場合には「仮申込」とみなす。
1年次（2年次） 「仮申込」を行った年度の末まで	■本申込の権利取得 「人工知能基礎」「データサイエンス基礎」「情報技法基礎」「プログラミング基礎」の4科目を単位修得する。 要件を充足した場合は、年度末の3月に権利が付与される。	・要件未充足の場合は「仮申込」を取り消しとする。 ・「本申込の権利」の有効期限は、取得した年度の3月から翌年2月までの1年間。 ・一度取得した「本申込の権利」を失った者が再付与を希望する場合、2月に「本申込の権利の再付与申請」をすること。卒業までにコース修了が見込める者には再付与する。
1年次（2年次） 3月	■本申込 上級生ガイダンスに参加のうえ、以下の科目を履修する。 本申込対象者にはMUSCATで案内するので確認する。 ①「人工知能技術と社会」 ②「～活用」科目いずれか1つを選択し、「～活用1」「～活用2」をセット履修かつ、複数クラス開講の場合は同じ番号のクラスを履修する（※）。 ③「～デザイン」科目いずれか1つを選択（※）。 ④「～発展」科目群の中から任意の2科目を選択。これらの科目はそれぞれ内容が同じクラスが複数開講されるため、希望するクラスを履修登録する（※）。	・「人工知能技術と社会」を履修削除した場合には、副専攻を辞退したとみなし、当該年度の2月末日に辞退届が提出されたものと扱う。 ・「～活用1」「～活用2」のクラスは、講義名の後ろの[]内が同じ番号であること。異なる番号のクラスを履修登録した場合は履修を許可しない。次回以降の追加可能時期に同じ番号のクラスを履修登録しなすこと。 ・本申込の有効期限は卒業または辞退届の提出のいずれか早い方とする。
2年次（3年次） 12月	■コース選択 「プロジェクトコース」と「インテンシブコース」から選択。 「人工知能技術と社会」の授業内で説明会を実施するため、コース修了を目指す学生は必ず参加し、希望コースを申請する。 (プロジェクトコースの所属となった場合) ・翌年度前期に「人工知能実践プロジェクト」を受講する。 (インテンシブコースの所属となった場合) ・「～発展」科目群の中から合計で4科目を単位取得する必要があるため、翌年度にまだ単位取得していない任意の2科目を選択して追加で履修登録する。これらの科目はそれぞれ内容が同じクラスが複数開講されるため、希望するクラスを履修登録する（※）。	・各コースの説明会は前年度までに「人工知能技術と社会」の単位を取得済みの者も参加可能とする。

※定員を超過した際は人数制限を行うため、履修を許可されなかった場合には、次回以降の追加可能時期に残席のある別クラスを履修登録すること。

科目及び単位数					
科目名	開講 学年	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
		コース 必修*	選択		
【入門科目】					
データサイエンス基礎	1年	1			
人工知能基礎	1年	1			
【基盤科目】					
メディアリテラシー	1年		1		
情報技法基礎	1年	1			
プログラミング基礎	1年	1			
情報技法発展 A	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること	【1】選択するコースに応じて以下の通り選択必修 ○プロジェクトコースを選択する場合は、「情報技法発展A～C」「プログラミング発展A～B」の5科目から、2科目計2単位を選択必修 ○インテンシブコースを選択する場合は、「情報技法発展A～C」「プログラミング発展A～B」の5科目から、4科目計4単位を選択必修
情報技法発展 B	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること	
情報技法発展 C	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること	
プログラミング発展 A	2年		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること	
プログラミング発展 B	2年		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること	
【専修科目】 ※副専攻(AI活用エキスパートコース)申込者のみ履修可能					
人工知能技術と社会	2年	1			
機械学習活用 1	2年		1	◆「機械学習活用 1」「機械学習活用 2」をセットで履修すること	【2】以下のいずれかを選択し2科目2単位を選択必修 ○3年次で人工知能実践プロジェクト[機械学習活用トラック]を希望する学生は「機械学習活用 1, 2」を履修 ○3年次で人工知能実践プロジェクト[データサイエンス活用トラック]を希望する学生は「データサイエンス活用 1, 2」を履修
機械学習活用 2	2年		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	
データサイエンス活用 1	2年		1	◆「データサイエンス活用 1」「データサイエンス活用 2」をセットで履修すること	
データサイエンス活用 2	2年		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	
メディアデザイン	2年		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	【3】「メディアデザイン」「サービスデザイン」の2科目から、1科目1単位を選択必修
サービスデザイン	2年		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	
人工知能実践プロジェクト	3年		2	◆「人工知能技術と社会」、【2】【3】で必要な選択必修科目の単位を修得していること ◆「プロジェクトコース」を選択していること	「プロジェクトコース」を選択した学生は選択必修

*副専攻(AI活用エキスパートコース)認定のための必修科目です。卒業所要単位上の必修・選択区分については各学科の開講表をご確認ください。